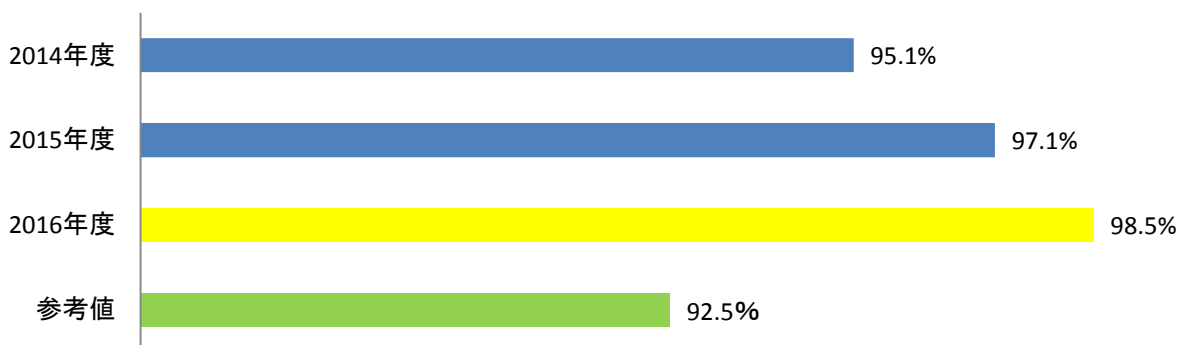


特定術式における手術開始前1時間以内の予防的 抗菌薬投与率



※参考値出典：日本病院会 2016 年度 QI プロジェクト結果報告 No11 特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的
抗菌薬投与率 参加 345 施設平均値

■ 特定手術の予防的抗菌薬投与は概ね定着化

本指標は、手術後に発生しうる手術部位感染（SSI）の予防に取り組んでいるかどうかを示しております。手術部位からの感染症が発生する事で入院期間の延長とそれに伴う医療費が増加し患者さんへの負担が増すことになってしまいますが適切なタイミングで抗菌薬を投与し、血中及び組織中の抗菌薬濃度を適切に保つ事で予防する事ができます。2014 年度から 2016 年度までに予防策を徹底した結果、ほぼ全ての手術室で行われる特定手術において手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与を根付かせることが出来ました。



杉並区内の介護施設での意見交換会の様子
(出席：ICD 藤井 奨 ICN 奥 由美)

当院が中心となり杉並区、中野区の医療施設と「中野・杉並感染管理ネットワーク」を形成し感染症防止に向けた病院間での協力活動を行っております。この取り組みは加盟病院間の相互ラウンドや講習会、研修会の開催を通じて感染症の予防や制御方法に関する知見を習得する事を目的としております。現在は介護施設とも連携を深めています。

特定術式＝冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘術